

第五十九回句会 俳句

【高点句】

- ☆出し抜けのつくつくぼうし夕散歩 〈眞澄〉
☆蝸や語り残して友は逝き 〈安津子〉
☆喪の家の雑草を抜く残暑かな 〈莫院〉

【各自一句】

- ・方程式解けず聞こゆは鈴虫か 〈撫子〉
・頂点の俳句を愛でる街残暑 〈童心〉
・にらめっこして蠓螂の動かざる 〈一馬〉
・揚花火重なり開くドナウ川 〈緑〉
・顔にその生き様のあり身にしみて 〈伸子〉
・秋風に夜景を揺らす屋形船 〈青蛙〉
・残暑でも汗にじみ出る熱の島 〈隆司〉
・目に刺さるやうな夕日や秋暑し 〈眞澄〉
・単線の下り待つ間を秋の蟬 〈一衣〉
・母の記憶いよよ衰へ残暑なほ 〈明美〉
・花木権母の背中細きこと 〈千恵〉
・白きものすべて眩しき残暑かな 〈哲雄〉
・うつらうつら頁進まぬ残暑かな 〈安津子〉
・灯火親し子に戻りしも母は母 〈茂〉
・ジージーとラジオ狂へる残暑かな 〈郁代〉
・残暑過ぎほつと一息つく夜更け 〈徳人〉
・兄弟の別れ鴉や餌争う 〈雄記〉
・連弾が床をゆさぶる残暑の夜 〈剛至〉
・秋暑し我殺さるる夢ばかり 〈莫院〉

＊以上、53句（3句ずつ16名、2句2名、1句1名）より、選句は20名により4句
ずつ

＊高点句は、高得点の句より3句

＊各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に
偶然記載された順に掲載）